

町政



幅田千富美

郵便集配局廃止計画の中止を

反対の立場で働きかける

公共施設管理運営 指定管理者公募要項

幅田 十月、町内から集配局をなくし、民営化後は県内四ヶ所になる。これは、全国で二番目の削減率であり、中山間地域を丸ごと切りするものであり、この計画をストップするのは政治の役目である。町長の対応は、町長 私は反対の立場であり、近く局との協議会があり、中止を働きかける。

三百九十万円の管理費は、ムタであり閉館等、検討すべきと思うが。

町長 指定管理者で運営すればサービス向上利用促進、経費削減効果などが期待できる。

文化振興の底辺を広げる。指定管理の予定で議会と慎重に検討する。

国保税の引き下げ

幅田 不況、失業で所得が減り、支払える限界をこえた税金だ。町内の六割が国保世帯だがその半分は法定減免世帯である。年三十三万円以下の所得世帯は六十八%にもなっている。

教育基本法改正

幅田 内心の自由をおかす「国を愛する心」等を法律で決め通知表で評価することになる。改正案について教育長の見解は、教育長 教育委員会が合意を得ないので見解が出せない。

植田正治美術館

幅田 運営費累積赤字が約五億円。開館五年後、大規模改修見積一億七千万円は補修されずに被害は広がっている。植田さんの芸術性は否定しないが一万二千町民で担えるか。国、県の支援と今年度中に専門家を加えた検討委員会を立ち上げ、公平に検討すべきである。

町長 日本写真協会文化賞を受賞し、全国的評価が高い。財政負担を承知の上でこの施設を生かし、



郵便配達車 (岸本郵便局)